

みんなの「なんなの？」を伝えるこども記者のための新聞

信毎こども記者ニュース

発行/信濃毎日新聞地域活動部 〒380-8546 長野市南県町657 TEL.026-236-3110 FAX.026-236-3193

no.1

こども取材教室 始動!

めでたい!
創刊号

先生は信毎の記者

みなさん、こんにちは。今月から「信毎こども記者ニュース」を発行します。こども記者の活動の様子や小学生向けのイベントの情報などを伝えていきます。こんな活動をしましたとか、こんな人を取材を試してみたいとか、お便りも待っています。紙面を通して、みんなで交流していきましょう。今回は、5月31日に開いた「こども取材教室」の様子を紹介しましょう。

初めての「こども取材教室」は、塩尻市広丘高出の信毎塩尻製作センターで開きました。取材の仕方や記事の書き方を教えるのは、信毎のベテラン記者。

プロ顔負けの質問も

最初に、記者による取材の仕方のレクチャー。インタビューする上での心がまえなどを学びました。その直後に行った記者会見では、りんごろう先生を囲んで「こども記者たちが「愛称がりんごろう先生になった理由は何かですか?」など、次々と元気に質問しました。

初めての「こども取材教室」は、塩尻市広丘高出の信毎塩尻製作センターで開きました。取材の仕方や記事の書き方を教えるのは、信毎のベテラン記者。「こども記者」を希望する小学3年生から6年生までの12人が参加してくれました。「りんごろう先生」の愛称でいろいろな理科の実験を考えだし、上水内郡小川村の小川小学校で理科を教えている松本徳重先生(63)を実際にインタビューして、記

最初に、記者による取材の仕方のレクチャー。インタビューする上での心がまえなどを学びました。その直後に行った記者会見では、りんごろう先生を囲んで「こども記者たちが「愛称がりんごろう先生になった理由は何かですか?」など、次々と元気に質問しました。



実験をまじえた記者会見

取材の後、みんなで編集会議を開いて、だれが何を書くかを決めました。記者の指導を受けて、それぞれ分担当した記事を書き、5人の6年生はみんなの前で自分の記事を発表しました。プロの記者もおど

こども記者に聞きました 取材教室を体験してみよう



宮下武也さん(6年生) / 実験がすごく楽しかったです。りんごろう先生が実験で大切にしていることを記事にしました。取材教室に参加して、(文章を)書くことに自信ができました。



降旗唯さん(6年生) / りんごろう先生を紹介する記事を書きました。最初は先生に何を聞けばいいかわからなかったけど、自分で整理して質問でき、きちんと書いてうれしかったです。

◎取材教室でこども記者が書いた記事は、6月14日・21日付の信濃毎日新聞の「信毎こども新聞」のページにのります。

そもそも新聞ってなんだろう?

社会のできごとを、早く多くの人に知らせるための印刷物。

記事ってなに?

いろいろなできごとを書きしるしてある新聞や雑誌の文章。

新聞記者ってなにをする人?

新聞をつくるために、記事を集めたり、書いたり、編集したりする人。

取材ってなにをするの?

新聞や雑誌、放送などの記事やニュースの材料を集めること。実際のできごとや相手の話から材料を取り集める。正確にものごとを観察する力やインタビューする力、話題を整理し、まとめる力がもたらされます。

インタビューってなにをするの?

新聞や雑誌、放送の記者などが、人をたずねて話を聞きだすこと。自分が知りたいことについて、そのことを知っている人に直接質問して話を聞くこと。

記者の

極意 その1

記者として、大切なことを覚えておきましょう。

みんな最初は

一年生

ここだけのヒミツ!
ベテラン記者の失敗談



井上裕子記者

私が入社した20年前、小学生のみなさんと同じように鉛筆で原稿を書いていた(いまはパソコンです)。取材してきたことを一生懸命書くのですが、何度も書き直すと紙が真っ黒になって読みにくくなることもしょっちゅうでした。やっと書き上げて、先輩のキャップ(グループのリーダー)に見せると、赤ペンで修正されてもとの字が読めないほど真っ赤になって返ってくるのです。何が一番いやだったかというと、「〇〇はどうなっているんだ」と聞かれて、分らないと取材し直すこと。それもいじわるな?先輩は、一つずつ聞くからそのたびに取材先に電話をかけ直して、「すみません、すみません」と謝りながら取材するのです。心の中で先輩に「まとめて聞いてくれ!」とさげびながら。忙しいのにつきあってくださった取材先のみなさんには、頭が上がりません。そうやって、取材では何を聞いてくるべきか、身に付けていったのです。新人記者は失敗しながら、きたえられていくんですよ。